

医療連携情報

緊急の場合

緊急かどうか迷う時は、当番の医師が対応します。まずはお電話で「**救急の相談**」の旨をお伝えください。

代表電話 **TEL 042-314-3111**



お問い合わせ

▶ 患者さんのご紹介 医療連携に関するお問合せ

医療機関専用

TEL 042-314-3142 (平日8:30～17:15)
FAX 042-314-3199

▶ ファストエコー・CT検査に関するお問合せ

医療連携室

TEL 042-314-3142 (平日8:30～17:15)

▶ 各種申込用紙のダウンロード

ホームページからダウンロードしてご利用ください。
外来予約申込み／ファストエコー申込み
セカンドオピニオン申込み ほか

医療従事者向けセミナー

神明台ハートセミナー

全国から専門の医師を招き、循環器診療のトピックスに関する講演をWEBと会場でハイブリッド開催しています。

－原則、毎月第3金曜日 19:30～21:00

神明台循環器疾患連絡協議会

地域の先生方との連携を深めることを目的とし、当院の医師による日常診療に役立つレクチャー等を行っています。

－年4回開催

登録医について

登録医の先生方には、以下のようなご対応をしています。

- 登録医証の発行
- 神明台ハートセミナーのご案内
- CT検査の利用
- 定期的な外来担当医表の発送
- 新たなサービスの優先的なご案内

お申込みについて

- ― 府中市、調布市、三鷹市、武蔵野市、狛江市、国分寺市の医師会に所属している先生
各医師会を通じてお申込みください。
- ― 上記以外の先生
医療連携室：TEL **042-314-3142** (平日8:30～17:15)

公益財団法人 榊原記念財団 附属 **榊原記念病院**

〒183-0003 東京都府中市朝日町3-16-1

代表電話 **TEL 042-314-3111**

医療連携室 直通
(医療機関専用)

TEL 042-314-3142 (平日8:30～17:15)
FAX 042-314-3199



ホームページ

2026.9_Heart to Heart_vol.11

Heart to Heart

SAKAKIBARA
HEART INSTITUTE
NEWS LETTER

2026.09

vol. **11**



公益財団法人 榊原記念財団
附属 **榊原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

循環器内科医師集合写真 2026年4月



心不全

特集

急性期診療と代償期在宅療養を「循環する」心不全診療 有効な情報連携を

急性増悪と寛解を繰り返しながら進行する心不全の診療では、再増悪・再入院を防ぎ、住み慣れた環境で過ごせる時間を延ばすことが目標となります。そのためには、急性期病院での治療と、かかりつけ医療機関における代償期の継続的な診療を切れ目なくつなぐことが重要です。2026年度より「心不全再入院予防継続管理加算」が導入され、双方の医療機関によるリスク評価、療養指導、情報共有が一層重要となりました。当院でも入院中から退院後までの診療体制を見直し、地域の先生方とともに患者さんを支える「循環する」心不全診療に取り組んでいます。本号では、その取り組みをご紹介します。

多職種介入 患者さんの個別性を考慮したリスク評価と多職種それぞれの療養指導

再入院予防チーム 多職種専門チームによる心不全療養指導計画作成と退院時アセスメント

‘ファスト’栄養指導 当院外来栄養指導の予約簡便化で退院後の管理料3取得も可能な連携を

往復する情報共有書 かかりつけ医療機関との簡便・継続可能な連携ツールを目指す



循環器内科部長
心不全部門長
細谷 弓子

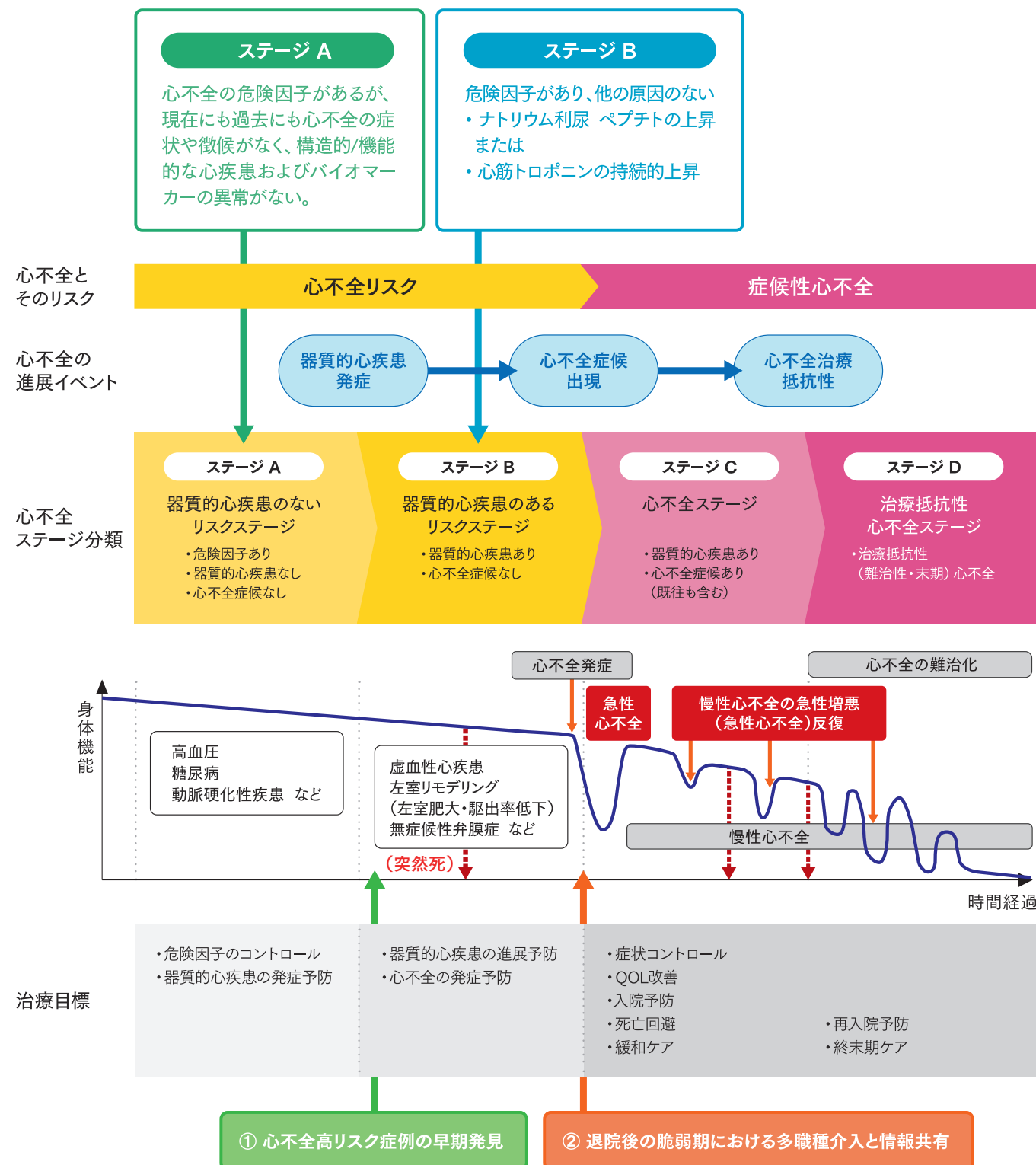
2025年に改訂された心不全診療ガイドラインでは

○心不全発症前からの早期介入

○多職種による療養指導・かかりつけ医との継続的な連携による再入院予防

が重要なポイントの1つに挙げられています。

今回は心不全の病状の経過の中で、病診連携が有効なポイントと当院の取り組みについて紹介します。



『地域のかかりつけ医と多職種のための心不全診療ガイドブック』より引用
厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究(H30-循環器等一般-002)

心不全ステージAからステージBへの進行を示唆する所見の1つに、BNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)などのマーカー値の上昇があります。府中市では、令和6年度から心不全予防検診として75歳の市民を対象にNT-proBNP測定が開始されました。

榊原記念病院の「ファストエコー」は、診察なしに心エコー検査を受けられ、心不全予防検診で要精密検査となった市民の方にも 迅速な診断の一助として活用いただいています。

令和6・7年度 府中市心不全予防検診

75歳対象、NT-proBNP $\geq$ 125pg/mLで要精密検査と判定
※令和8年度から65歳が追加

受検者 ▶ 2698名 (受診率 約50%)
要精密検査 ▶ 815名
(要精密検査率 受検者の約30%)



市内医療機関の
循環器内科にて心エコーなど
精密検査を勧奨

府中市 心不全予防検診



榊原記念病院 ファストエコー

地域のかかりつけ医の先生方が「患者さんの症状がちょっと気になる」と思ったときやNT-proBNP (BNP) が高値の患者さんに、予約から心エコー検査までをスピーディーに行う検査体制を提供しています。

心疾患の早期発見・早期治療介入につなげます。

- POINT**
- 検査から1週間で、結果を発送!
 - 専門医によるコメント付き!
 - 患者さんの来院は検査当日だけ!
 - 心不全悪化の早期発見で治療介入の遅れを防止!

こんな症状のある患者さんに

- 胸痛 ● 息切れ ● 動悸 ● むくみ ● 心雑音 ● 高血圧
- 心電図異常 ● 心不全のフォロー
- 無症状であってもNT-proBNP(BNP)の異常値があるときのスクリーニングとして

地域の先生方へ

ファストエコーのご案内
～心不全の早期発見を支援します～

ファストエコーとは
地域のかかりつけ医の先生方が「患者さんの症状がちょっと気になる」と思ったときやNT-proBNP(BNP)が高値の患者さんに、予約から心エコー検査までをスピーディーに行う検査体制を提供しています。心疾患の早期発見・早期治療介入につなげます。

POINT

- 検査から1週間で、結果を発送!
- 専門医によるコメント付き!
- 患者さんの来院は検査当日だけ!
- 心不全悪化の早期発見で治療介入の遅れを防止!

こんな症状のある患者さんに

胸痛・息切れ・動悸・むくみ・心雑音
高血圧・心電図異常・心不全のフォロー
無症状であってもNT-proBNP(BNP)の異常値がある時のスクリーニング

専用検査枠

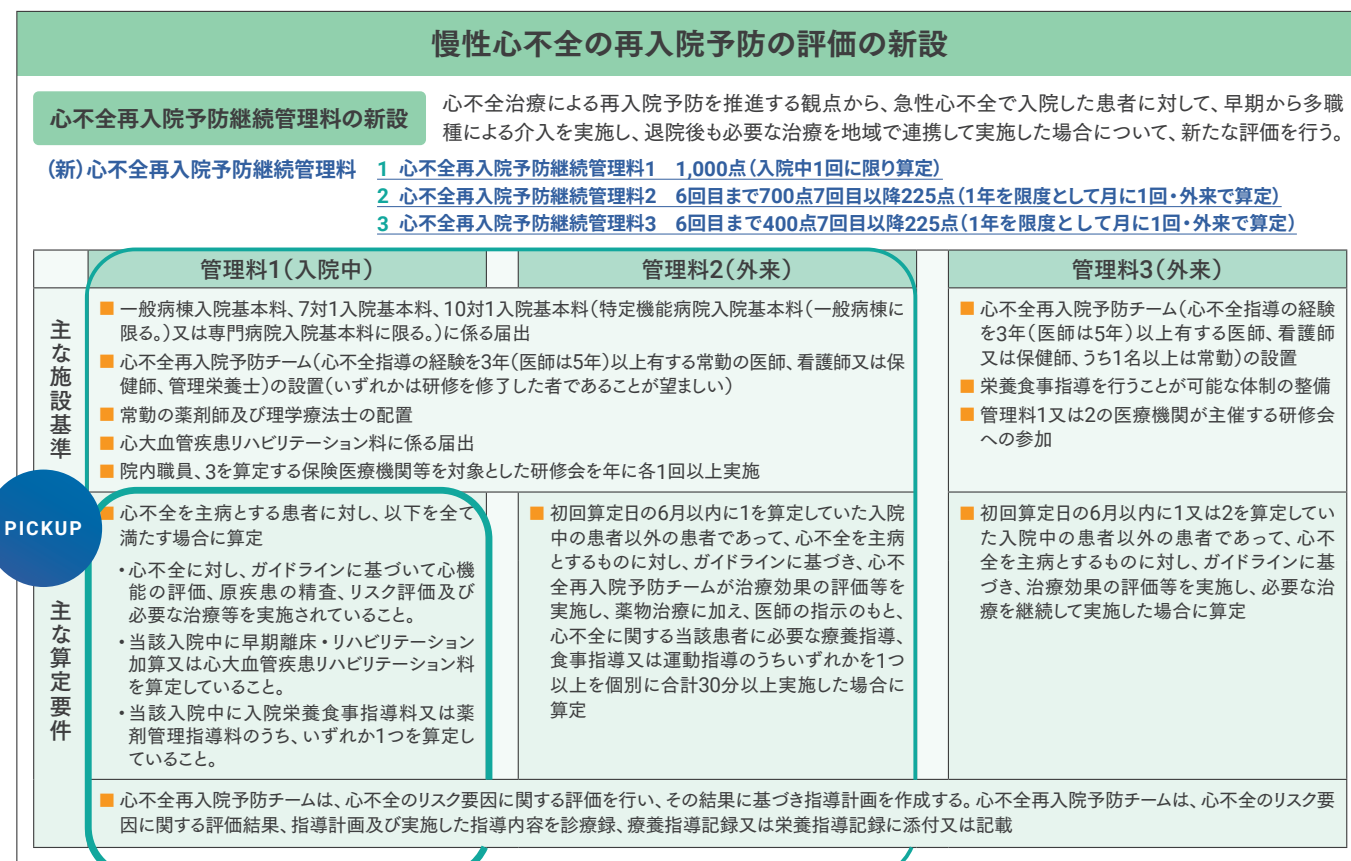
	月	火	水	金
9:30	○	○	○	○
13:30	-	○	○	○

ご利用の流れ

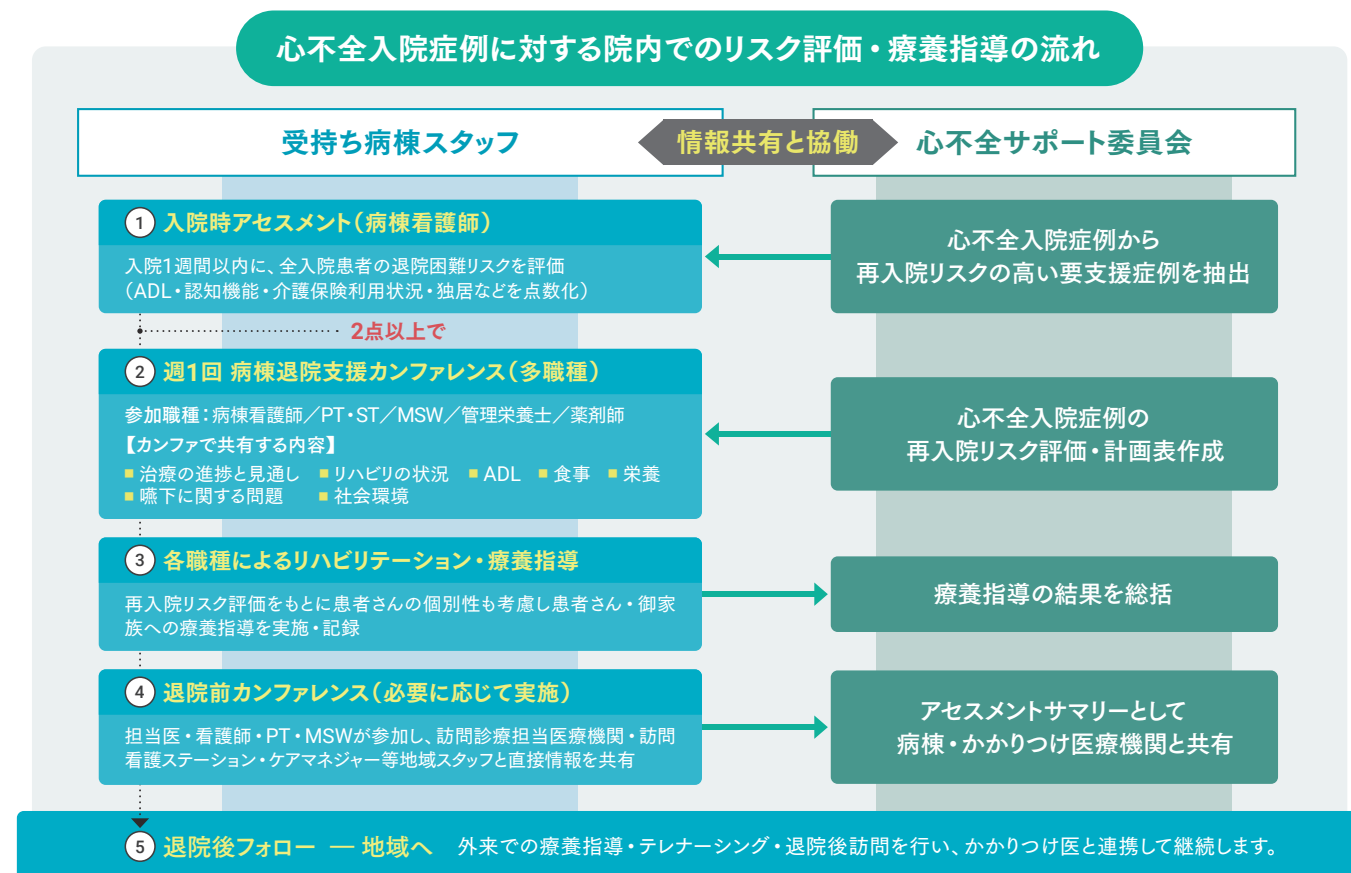
STEP1 FAXにてお申し込み
STEP2 FAXにて予約票を返席
STEP3 検査実施
STEP4 結果を迅速にフィードバック

お申し込みはこちら
榊原記念病院 医療連携室 (平日8:30~17:15)
TEL:042-314-3142/FAX:042-314-3199

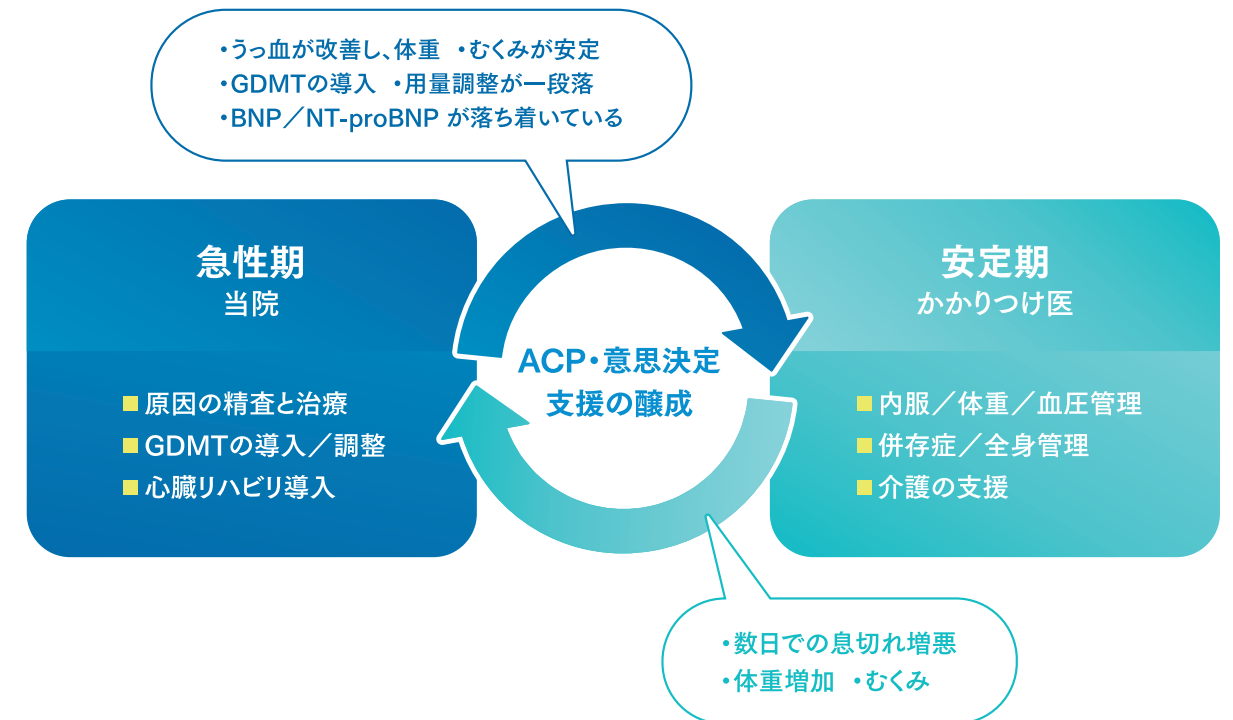
当院の心不全サポートチームが心不全サポート委員会として、心不全療養指導の強化に努めることになりました。



令和8年度診療報酬改定「13. 重点的な対応が求められる分野(医学管理・リハビリテーション)」 P2「慢性心不全の再入院予防の評価の新設」
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001666318.pdf>



心不全入院症例退院後3-6か月は心不全再増悪を来しやすい脆弱期と呼ばれます。この時期を急性期病院の循環器医とかかりつけ医が連携して診ることで、標準治療薬の導入が進み、再入院が減少するとされています。急性期は当院で、安定期は地域で、増悪時にはすぐ当院へ。行き来しながら支える「循環する」連携をめざしています。



当院の新しい心不全連携 1 アセスメントサマリー+診療情報共有書

再入院リスクの高い心不全入院症例を重点支援症例として抽出し、再入院予防継続管理加算1を取得できる内容の心臓リハビリテーション・療養指導を実施します。

重点支援症例となった患者さん

(＝管理料1を取得した患者さん)の退院時には
診療情報提供書＋退院時サマリーに加えて
以下2点をお送りします。

- ①各職種で行ったリスク評価・療養指導結果を記載した
アセスメントサマリー
- ②心不全診療情報共有書

②は外来フォロー時の情報共有用にお使い頂けます。
双方でやり取りできるA4/1頁の簡便な様式となっています。

＊訪問看護師、ケアマネジャー等のスタッフの方々と情報を共有し、地域全体で切れ目のない支援を目指します。

心不全診療情報共有書(再入院予防加算管理料①⇔③連絡用)	
患者名 _____ 様	_____ 年 月 日生 2026 年 月 日
(医療機関名) _____ ⇒ 榊原記念病院	
☐ 詳細は別紙診療情報提供書参照 ☐ 検査結果別紙	
☐ 心不全の経過: 著変なし ・ 増悪	☐ 入院含めた加療依頼
息切れ 下腿浮腫 体重増加(± _____kg) 労作時息切れ 動悸 めまい 胸部X線異常(心拡大 胸水 その他 _____) 心電図(心房細動 _____) その他症状や検査異常(_____)	
☐ 投薬変更 なし・あり (_____)	
変更理由(□血圧低下 □高 K □腎機能悪化 □徐脈 □尿路感染 □浮腫、体重増加 □その他(_____))	
☐ 検査希望 有・無	☐ 急ぎの検査依頼 ☐ 栄養指導予約希望 有・無
心エコー ・ Holter ・ 冠動脈 CT ・ その他 (_____)	
榊原記念病院 ⇒ _____ 先生 御侍史 _____ 月 日	
☐ 詳細は別紙診療情報提供書参照 ☐ 検査結果別紙	
☐ 心不全の治療経過は良好で現在の治療の変更はありません。	
☐ 検査の結果、以下の点を変更しました。	
内服(下記) 目標体重(_____kg) 飲水制限(_____)mL/日 その他(下記)	
_____ _____	
次回受診予定 ☐ _____ か月後 ☐ しばらく当院外来で 精査・加療 致します	
連絡先: 榊原記念病院 042-314-3111(代表)	
緊急でない相談は heartnet@shi.heart.or.jp でも承ります	

慢性心不全の再入院予防の評価の新設

心不全再入院予防継続管理料の新設

心不全治療による再入院予防を推進する観点から、急性心不全で入院した患者に対して、早期から多職種による介入を実施し、退院後も必要な治療を地域で連携して実施した場合について、新たな評価を行う。

(新) 心不全再入院予防継続管理料

1 心不全再入院予防継続管理料1 1,000点(入院中1回に限り算定)

2 心不全再入院予防継続管理料2 6回目まで700点7回目以降225点(1年を限度として月に1回・外来で算定)

3 心不全再入院予防継続管理料3 6回目まで400点7回目以降225点(1年を限度として月に1回・外来で算定)

	管理料1(入院中)	管理料2(外来)	管理料3(外来)
主な施設基準	■ 一般病棟入院基本料、771入院基本料、1031入院基本料(特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。))又は専門病院入院基本料に限る。)に係る届出 ■ 心不全再入院予防チーム(心不全指導の経験を3年(医師は5年))以上有する常勤の医師、看護師又は保健師、管理栄養士の設置(いずれかは研修を修了した者であることが望ましい) ■ 常勤の薬剤師及び理学療法士の配置 ■ 心大血管疾患リハビリテーション科に係る届出 ■ 院内職員、3を算定する保険医療機関等を対象とした研修会を年に各1回以上実施	■ 心不全再入院予防チーム(心不全指導の経験を3年(医師は5年))以上有する医師、看護師又は保健師、うち1名以上は常勤)の設置 ■ 栄養食事指導を行うことが可能な体制の整備 ■ 管理料1又は2の医療機関が主催する研修会への参加	
主な算定要件	■ 心不全を主病とする患者に対し、以下全てを満たす場合に算定 ■ 心不全に対し、ガイドラインに基づいた心機能の評価、原疾患の精査、リスク評価及び必要な治療等を実施していること。 ■ 当該入院中に早期臨床・リハビリテーション加算又は心大血管疾患リハビリテーション料を算定していること。 ■ 当該入院中に入院栄養食事指導料又は薬剤管理指導料のうち、いずれか1つを算定していること。	■ 初回算定日の6月以内に1を算定していた入院中の患者以外の患者であって、心不全を主病とするものに対し、ガイドラインに基づき、治療効果の評価等を実施し、必要ない治療を継続して実施した場合に算定	
	■ 心不全再入院予防チームは、心不全のリスク要因に関する評価を行い、その結果に基づき指導計画を作成する。心不全再入院予防チームは、心不全のリスク要因に関する評価結果、指導計画及び実施した指導内容を診療録、療養指導記録又は栄養指導記録に添付又は記載		

当院あるいは他院にて管理料1または2を算定された患者さんを外来でフォロー頂く際には

- 管理料3施設の届出
 - 心不全再入院予防チームの設置(医師+看護師)
 - 栄養食事指導を行える体制
 - 管理料1を取得している医療機関の研修会への参加
- をもって**管理料3の算定が可能**となります。

当院の新しい心不全連携 2

“ファスト”栄養指導予約

FAXにて当院外来の個別栄養指導を予約できるシステムを作成しました。

- 1 かかりつけ医より依頼書を医療連携室へFAX送付
- 2 医療連携室より予約票をかかりつけ医へFAX返信
- 3 当日：患者さんが来院し栄養指導受講⇒会計・ご帰宅

お申込み

申込書をホームページからダウンロードのうえ、
医療連携室へFAXでお申し込みください。診察予約は不要です。

[illegible]

当院の新しい心不全連携 3

心不全診療に関する研修会の定期開催

かかりつけ医療機関スタッフの皆様を対象とした心不全診療・療養指導に関する研修会を定期開催してまいります。
次回は2026年12月22日を予定しております。



参加をご希望の方は
QRコードからご登録ください。
詳細が決まり次第お知らせします。

心臓を守る健康教室シリーズ(2026年度)

都民の皆さまの循環器病予防・健康寿命の延伸・QOL改善を目的に、心疾患の発症予防に取り組んでいます。

親子教室	2026年 7月25日(土)	榊原記念病院 3階ホール
料理教室	2026年 9月26日(土)	府中市プラッツ 6階調理室
運動教室	2026年10月28日(水)	ルミエール府中 2階レクリエーションルーム
お薬教室	2027年 2月13日(土)	府中市プラッツ 6階会議室



心臓病総合相談窓口のご案内



心臓病総合支援センターでは、心臓・血管病をお持ちの患者さんとご家族が安心して療養・生活できるよう、メール相談をお受けしています。豊富な知識と経験を持つ専門スタッフが対応します。



● モービルCCU / ファストエコー

モバイルCCU（高規格ドクターカー）



診療所の先生に同乗いただく必要はなく、当院が治療を引き継ぎます。片道30分圏内の医療機関からの救急要請に応じ、搬送中から救急車内での早期治療が可能です。

通常裝備

- 12誘導心電図
- 除細動器
- 経皮的ペースメーカー
- 携帯型心エコー装置
- 心血管作動薬

設備可能な機器

- 人工呼吸器
 - 非侵襲的陽圧換気装置
 - 機械的循環補助
- ECMO(PCPS=経皮の心肺補助装置)
 - 大動脈バルーンパンピング(IABP)
 - 補助循環ポンプカテーテル(Impella)

ファストエコー

心不全の早期発見を目指し、地域の先生方が心エコーで確認したいときに「早く対応」する「ファストエコー」を行っています。診察の予約なしに簡便に心エコー検査をご利用いただくことができます。

検査結果は、専門医が読影しコメントをつけて、検査後1週間程度で発送します。

お申込みについて



申込書(兼診療情報提供書)
をダウンロードいただき、
お申し込みください。